

とちのき通信

NO.5 (令和6年9月20日)
宇都宮市立雀宮中央小学校

目指す
児童像

明るく元気でがんばる子ども (元気)
進んで学びよく考える子ども (やる気)
心豊かで思いやりのある子ども (思いやり)
合言葉「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」



学校ホームページ

41日間の長い夏休みが明け、8月30日(金)から学校が始まりました。子供の楽しそうな声が響いているのは、やはりよいものです。子供がいてこそこの学校だと改めて感じています。

朝晩は涼しくなってきましたが、登校時間から下校時間まではまだかなり暑い毎日です。運動会の練習も始まります。子供たちの健康と安全を守りながら、教育活動を進めていきたいと思えます。

今号の「とちのき通信」では、夏休み前後の学校の様子をお伝えします。

宇都宮の良さを知ろう！宮っ子ランチ

7月18日(木)の給食は、夏の宮っ子ランチでした。「宮っ子ランチ」は、私たちの住む宇都宮市の特産品や食文化など、宇都宮の良さを知ることができる給食です。

今回のメニューは、名付けて「平和を願って 大いちょう献立」、十六穀ごはん・牛乳・揚げ餃子・からし和え・大いちょう汁・マスカットゼリーです。餃子は宮っ子ランチ特製のもので、宇都宮産のニラと栃木県産のかんぴょうや豚肉が入っていました。「大いちょう汁」には、いちょう切りにした人参・大根を入れ、いちょうの形をした特製かまぼこが入っていました。



給食の時間の放送では、「昭和20年7月12日深夜に、B-29による宇都宮空襲がありました。宇都宮は一面焼け野原になってしまいましたが、人々の力で復興し、現在のような立派な街になりました。」というお話がありました。子供たちが平和について考え、宇都宮を愛してほしいと願っています。

職員研修でスキルアップ

夏休みの初めの3日間は、職員の研修期間です。普段はなかなかまとまった時間が取れないため、夏休みにじっくり勉強します。今年の内容は「特別支援教育」「外国語の授業」「児童指導」「いじめ防止」「とちぎっ子学習状況調査の結果分析」「校内の備品管理」でした。児童指導のコマだけは外部にお願いしましたが、あとはすべて本校の職員がそれぞれの専門性を生かして講師を務めました。子供たちだけでなく、教師も学び合いを実践しています。7月は校内での研修、8月は外に出てそれぞれ教科の研修に参加したり自主研修を行ったりして、教師としての研鑽に励みました。



夏休みの作品整理

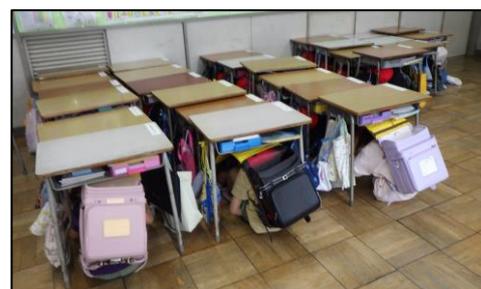
夏休み中に児童が取り組んだ作文や絵画などがたくさん集まりました。それらの作品をコンクールや作品展に出品します。9月3日(火)には、ボランティアの皆様にご協力をお願いしました。各ブースに分かれて、名簿に漏れがないか、出品先は間違っていないかなど、丁寧にしながら作業をしていただきました。ボランティアの皆様のご協力のおかげで、教職員が児童と向き合う時間をつくることができます。心より感謝申し上げます。



もしも竜巻が来たら…

9月10日(火)の避難訓練は、竜巻が学校の南側から急接近するという想定で行いました。放送で大きな風の音が流れる中、子供たちは教員の指示に従いながら机を廊下側の壁に寄せて固め、シェルターを作りました。帽子をかぶってランドセルを背負い、ランドセルのカバーを開けて頭を覆って机の下にもぐります。

地球の環境が変化し、今はここ栃木県でも竜巻が発生する時代ですから、「もしも」に備えて訓練をすることは大切なことです。今日は教室内での訓練でしたが、事後の振り返り活動では「校庭だったら」、「体育館だったら」ということも学習しました。



稲刈り体験

9月18日(水)、農業ボランティア大塚様のご協力により、今年も稲刈りを行うことができました。やり方を教えていただいた後、たわわに実った稲穂を1株1株手鎌で刈り取りました。子供たちは、「刈るときにザクザクといい音がした」「楽しかった」と嬉しそうに話していました。この経験を通して、田んぼのある環境を大切に思い、お米をいただくことへの感謝の心をもってほしいと思います。子供たちの指導・支援をしてくださった大塚様、地域コーディネーター近藤様・小林様を始め、多くのボランティアの皆様、ありがとうございました。収穫したお米は、給食で全校児童がいただきます。



★お知らせ(通知票の記載について)★

「道徳」、「総合的な学習の時間」、「外国語活動の記録」については、年間を通して身に付いた力や児童の変容、特記すべき学習の様子等を評価して、2学期の通知票に記載します。